

ソーシャルメディアガイドライン（学生向け）

ソーシャルメディアガイドライン（学生向け）

ソーシャルメディアはその利便性によって魅力的なコミュニケーション手段となり、広く社会に浸透し、活用されるようになってきました。北海学園大学は、国際化・高度情報化するこれからの社会の担い手となる学生の皆さんが、ソーシャルメディアを有効に活用する権利を認め、尊重します。しかしながらソーシャルメディアは、扱い方を間違えると意図しない問題を引き起こし、社会や友人・家族・自分自身に対して多大な悪影響を及ぼす危険性も含んでいます。法令違反があれば刑事罰に問われることがあるほか、民事訴訟を提起され賠償金等の支払いを求められることもあります。

北海学園大学の学生の皆さんがトラブルに巻き込まれることなく、適切にソーシャルメディアを活用し、有意義な学生生活を送ることができるよう、このガイドラインを作成しました。

●ソーシャルメディアとは

ソーシャルメディアとは、インターネット上で個人や団体の情報発信をもとに不特定多数の利用者が双方向的に情報伝達することが可能なメディアのことを指します。

例) ブログ、プロフ、SNS (Facebook、mixi、GREE、Mobage など)、
Twitter、LINE、YouTube、電子掲示板など

1 法令、社会的ルールの遵守

1-1 日本国の法令、学則等の学内規則を遵守し、各サービスの利用規約を良く読み、内容を理解した上で利用しましょう。

- 未成年の飲酒、喫煙、不正乗車、公共の場における迷惑行為、カンニングの告白などの投稿が問題となった事例があります。これらの行為はそもそも許されるものではありません。法的処分の対象になりうるほか、学内でも処罰の対象となります。
- アルバイト先での機密情報を暴露するなどして、雇い主に不利益を与えると損害賠償を求められるケースがあります。

1-2 情報発信に際しては、あなたの友人などを含めた他者のプライバシーや権利（著作権、知的所有権、肖像権など）を侵害しないよう細心の注意を払いましょう。

- たとえ友人であっても他の人の写真や情報を無断で掲載するとプライバシー権を侵害することになりかねません。
- 電車内で第三者を勝手に撮影し、中傷するようなメッセージを付加して投稿するといったことが問題となっています。これらは名誉棄損で訴えられる可能性もあります。

2 責任ある発言と情報の正確性

2-1 発言する前にその内容が一生残ってもいい内容か十分に考えてから投稿しましょう。不用意な発言や常識を逸した発言は絶対にやめましょう。

- 後で削除できると思い、軽い冗談のつもりで発言したことが、大きな社会問題となった事例があります。インターネットに発信した情報は世界中に広まり、一度発信すると完全に削除することはできません。
- ソーシャルメディア上は匿名であっても、前後の発言内容や過去の投稿内容、IP アドレスから、発信元を特定することができます。特定の個人や団体への誹謗中傷や侮辱的発言、特定の民族・人種・国家への憎悪発言は、実名・匿名にかかわらず、許されるものではなく、身元を特定されて訴訟を提起される恐れがあります。
- 就職活動において、雇用者が雇用希望者をインターネット上で検索することが増えてきています。あなたのソーシャルメディアのアカウントを通じて発言したことが調べられ、将来あなた自身に不利益をもたらすことがないように、気を付ける必要があります。

2-2 発言する前に、その発言内容に虚偽がないことを確かめましょう。発言後にその発言の訂正や撤回の旨を投稿するのではなく、発言の前に情報源に照らし合わせて、その情報の真偽を検証することが必要です。

- オンライン上にはデマや不確かな情報も掲載されています。それらの情報を信じて誤った情報をあなた自身が拡げたことで、友人が被害者となってしまうおそれがあります。
- もし誤った内容を発信してしまった場合は、それを認め、素早く訂正しましょう。誤った内容の投稿自体を修正しようとするかもしれませんが、修正以前の状態を保持している人もいます。訂正したことを明記するのが賢明です。

3 自分自身のプライバシー保護

3-1 ソーシャルメディア上では、安全性や必要性を十分に検討した上で、個人情報を登録・公開するようにしましょう。

- インターネット利用者の中には、悪意をもって個人情報を公開しようとする人たちもいます。個人情報が自分の知らないところで掲載され、根拠のない噂を掲載されるなどの被害がでるケースがあります。
- 不用意な発言をしたために、自身だけでなく家族や友人まで特定され誹謗中傷されるケースがあります。

3-2 定期的にパスワードの更新を行いましょう。

- 自分の身は自分で守ることが大切です。アカウントを奪われて、自分になりすまし、悪意のある発言をしたり、犯罪予告などに悪用したりするケースがあります。
- 不特定多数の人が使うパソコンなどでは、ログインしたままの状態で放置してしまうことで、アカウント情報の漏えいにつながります。

3-3 GPS 機能の取り扱いに注意しましょう。

- ソーシャルメディアにアップロードした写真等に GPS 情報が付加されていて、自宅を特定され事件に巻き込まれるという可能性があります。
- 投稿状態によっては写真掲載のみで、いつどこで何をしたかというプライベート情報が筒抜けになってしまいますので、注意してください。

4 大学に所属していることの自覚

北海学園大学の学生として、ソーシャルメディアに良識ある態度で参加し、礼儀正しく振る舞うようにしましょう

- ソーシャルメディア上で発言を行う場合、社会全体からは北海学園大学の学生を代表したイメージで受け取られることがあることを十分に自覚してください。
- 不用意な発言が、あなた自身と北海学園大学の名誉と信頼を損なうことがあることを自覚してください。
- 特に、北海学園大学に所属していることを明らかにして（過去の投稿内容などから所属していることが推定できる場合も含む）ソーシャルメディアを利用している場合に本学に関連した内容について発言する際は、本学の見解ではなく個人的見解であることを明確にしてください。

5 その他の注意事項

- 北海学園大学の学生が行ったコミュニケーション活動において、何らかの係争に発展した場合、また、情報発信内容がふさわしくないと本学が判断した場合、本学の品位を守り、社会的責任を果たす目的で、北海学園大学の学生のコミュニケーション活動について調査することがあります。
- 個人またはクラブ・サークルなどにおいてソーシャルメディアを利用する際、無断で北海学園大学の校章やシンボルマークを使用することはできません。
- 北海学園大学に所属していること及び本名を明らかにせず利用しているソーシャルメディアから、北海学園大学並びに各学部・機関の Web サイトへのリンクは禁じます。